

詩画集

夢覚めず



行田の古墳

やまのうえの むらひと
山上 村人

目次

幸せ	大人は可哀そう	心の世界	酒(主)の祈り	九十九匹の羊	滞在許可	心百態	生まれ変わりの夢	雀一匹の朝	ゴキブリ哀歌	話題	嫌いな国	好きな人	者語り	月の宴
----	---------	------	---------	--------	------	-----	----------	-------	--------	----	------	------	-----	-----

3 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 8 6 4
0 8 6 4 2 0 8 6 4 2 0



金魚のお墓

なぞなぞ

一日

不思議

自分A

満月との会話

神を知らない者の祈り

私の幸せ

慈雨

夢の中の桜

白木蓮

異類との対話

フインドホーン

満天星

自薦 俳句・短歌

追補

5	5	5	5	4	4	4	4	4	3	3	3	3
6	4	2	0	8	6	4	2	0	8	6	4	2



幸せ

昔 昔 ある母子家庭のお話です

親族での祝い事があり

母はお土産に折詰めをもつて帰ってきた

「美味しいね」「美味しいね」

ランプの火影ほかげに四人の子供が集い

一人前の折詰めを分け合い幸せだった

私の母はそれを見て幸せだった

一日嫌なことが続いた帰り道

啄木は花を買ってきて妻に渡した

※1

「何かいい事あったの」



「今日は 何もいい事が無かったからだよ」

啄木は妻の笑顔を見た

啄木はその日初めて笑った

貴人の集う宴うたげでは山海の珍味が並ぶ

貴人は女人にょにんの注ぐ酒を飲み高価な料理をつまむ

食べきれない料理があるがそれを持ち帰る者はいない

「これ持ち帰ったら子供や妻が喜ぶだろうな…」

呟さげすみきがもれ同僚の蔑さげすみを受けた者がいた

山上憶良やまのうえのおくらという奈良時代の下級官僚である ※2

今世紀「鰻の蒲焼き」が出ると周囲の眼を気にせず

「これ包んで」と持ち帰る男がいた

恥ずかしながらそれ私です



大人は可哀そう

こどもが喜んでいるのはすぐ分かります

母親といるとスキップしながら歩き

通りすがりの私に笑いかけます

こどもが悲しんでいるのはすぐ分かります

ところ構わず泣きわめきます

大人は嬉しいことがあつても

身近な人に出会うまでは笑いません

知らない人が来ると急に笑顔のSWを切ります

大人は悲しいことがあつても泣きません

「何でも無いの」



とくに身近な者のまえでは隠します

大人になると嬉しくない時でも嬉しいといえます

「衷心ちゆうしんよりお喜び申し上げます」

「ところより感謝に耐えない次第でございます」

長い言葉は大抵ウソです

常に人の上にはないと機嫌が悪い人がいます

他人は信用できないのでドアを閉めシャッターを降ろし

鍵穴から眺めている近づきがたい人がいます

こころの奥で昔のことが泣いています



54 なかよし兄弟

心の世界

百三十年もまえ神は死んだと哲人ニイチエは断言した
科学の勝利である

雷が電気現象と分りさらに月には誰もいないことが分かった
人体の遺伝子構造も判明し

神は古代人の迷信であることが判明した

原初創造主の「光あれ！」の言葉で生まれた世界は

現在半径137億光年の宇宙です

でもどんな広大でも自分で見られない屋敷を造る主はいない

「天国はすぐそこにある」神の子イエスが言っています

パラダイスは百光年千光年先の星々であるかもしれませんが
イエスは共に十字架に掛けられた一人に告げました



「我 誠に汝に告ぐ、今日汝は我と共に。パラダイスに在るべし」 ※1

二一世紀の現在未だに神はいるという科学者もいます

パラダイスが電波望遠鏡にも電子顕微鏡にも見えないのは

そこは異次元だからという

それを科学を越えて解説しているのが山上の垂訓です

「心の清きものは神を見るであらう」 ※2

心の世界は「心ない人」には見えないのです

優しい人や心の綺麗な人と出会うと心がはずみます

みな「心の貧しき」人達です ※3

争いがあります 悪が栄えます

この世は天国ではありません

それで時々天国や神が予告編としてこの世に現れるのです



七夕飾り 林 義雄

酒（主）の祈り ※1

〈自分のように他人を愛せ〉

聖書の言葉は難しいです

性別のよく分からない解説者が言います ※2

〈まず自分を愛せ。自分が愛せないのにどうして他人が愛せるか〉
やはり分からないので

試しに身近な所から始めようと犬の頭を撫でました

犬は目を細めて嬉しいと言った

猫でも同じである

でもコレが通じるのは犬猫と幼児の場合である

大人には通じない

特に女性の場合間違えて撫でると噛みつかれる



昔 フランス映画で見た愛のドラマの登場人物はみな美男美女であつた
—あつし等には関わりのねえ世間でござんす—

私の青春期はこれにて一件落着

何で洗つてもだめなものがある

惜しいけどもう直らないものがある

そんなものはポイと捨ててしまおう

自分に喜びのない人は他人の喜びを喜ぼう

のど自慢で合格し飛び上がつて喜ぶ方を見よ

子供達が遊ぶ姿を見よ

みな自分の家族ではないが何故か嬉しくなる

何事もうまくいかない不成就ふじょうじゆひ日はお供への酒を飲もう

※3

どこかで誰かが 幸せでありますように



糸井 忠晴

九十九匹の羊

「我思う 故に我あり」

そう言ったのは四百年前フランスの哲学者ルネ・デカルト
有名です

ネコも私も知っています

私はヒトである 名はない その他大勢村人Aです ※

「我もアリ」一万匹の蟻も呟いた

昔々あるところにおじいさんとおばあさんが…

場所と名前が無いのは…

何故年寄りかというと…

気がつくとは人はみなそうなっているからです

生き物は名前がつくと世界に一人になります



世界で一人になると孤独が訪ねてきます

孤独は姉が魔法使い弟が死神です

弱い小さな生き物はみな群れを作ります

群れはみんなが自分です

百年前の自分も千年後の自分も自分です

メダカも雀もコオロギも群れの中に自分を忘れます

一人であると悲しみは一人だけのものだが

群れになると一匹の羊の悲しみは群れの悲しみになり

一匹の喜びは九十九匹の喜びになる

「二羽で一アサリオン」の雀は今も日々の散歩道にいる

一匹の羊は九十九匹の羊と同じなのだ

と思うのですが…マリア様



滞在許可

最近身近なもので老化を感じさせる者がいます

飼い犬のモコです

かつては寝ていても足音で起き上がったのに

後ろから近づいても気がつかないのです

本年満十三歳 人間なら中三ですが犬では高齢者です

「間もなく期限切れかな」と呟くと

不思議そうに見上げます

「あのネ」犬語で話しました

異国に滞在するには滞在許可（ビザ）が必要なこと

生き物にはみなこの世の滞在期間があること

トカゲや亀のように百年以上生きるものもいて



ライオンだぞ



埼玉犬 モコ

ネズミや雀のように 一、二年く四、五年もいる

ウスバカゲロウなんか二、三日の寿命なんだ と説明しました

「ふうーん。明日は今日の続きじゃ無いんだ ところで飼い主さんは？」

「実は既にオーバーステイなんだ

次は何処の星がいいか調べてるところなんだよ」

「いいなあ。犬のままでいいから連れて行つてよ」

聖書には動物の行き先はありません

三百年前のポップという人の「みよ。あの あわれなインデアン！」

で始まる詩があります

老酋長はインデアンの天国に生前の飼犬と暮らしています ※

そんな世界があると思いますか

私はあるような気がしています



心百態

犬やネコにはみな心がある

長年犬やネコを飼った人ならみな知っている

犬やネコに心はあるが心のない人間は多い

他人の痛みを自分の痛みと感じられる人がいるが

見ても聞いても何も感じない人がいる

さらに他人の傷みが嬉しい人がいるので苛め問題はあとを絶たない

罪にも重い軽いがあるように心にも多い少ないがある

自分の家族には良き父でも職場ではイマイチの方がいる

職場では腰の低い方と評価されているが

家に帰ると家族に当たり散らす人もいる

五体満足、美形、頭脳明晰にして心だけが少し足りない人がいる



舌切り雀のお婆さんはお伽話の悪人だ

人間の舌を切った雀はいないが

歴史は自分に都合の悪いことをいう人間を殺処分する王の物語りだ

今はメディアを使い権力を使い庶民の口を封じる暗雲が覆う

高価なバックは持っていないも 優しい心は持っていない女性がいる

(どんな高級品売り場でも優しい心は売っていないからです)

高級車は持っていないも子供の心を忘れた人がある

群衆の称賛、栄誉をうけて安らかに眠りにつく人がある

人様々住む世界により見る夢も様々

心が望む世界はみな幸せ 素朴で美しい世界だと思います

今宵幼児を抱いて眠りにつく母がいる

夜丸くなって寝ている犬がいる

お休み 夢の中に八日月が出ている



生まれ変わりの夢

神様 お願いがあります

私が生まれ変わったら魔法使いにしてください

魔法で何人かの人を喜ばせたいのです

私はこの世で目が不自由な人に逢いました

私の願いはその人の目が見えることです

空とか虹とかタンポポとか

健常者にはあたりまえのものをどんなに喜んで見るでしょう！

耳が不自由な人に逢いました

その方に聞かせたい波の音や虫の声があります

聞いて貰いたい音楽があります

そして貴方の名を呼ぶ人の声を聞いて下さい



特に私の望みは歩けなかった子供達が歩けることである
ある朝病床や車椅子から解放され

その子達に野原や砂浜を駆けさせて下さい

容姿に自信のない女性を思う通りの姿にして下さい

一週間でも一日でもいいです

お気に入りの服や靴を選び街を歩かせて下さい

シヨウウィンドーに写る素敵なお美女はあなたです

振り返る男達の視線を感じてください

私の青春は苦く寂しいものばかりですが

罰当たりにも辛い思いをさせた方もいます

そういう方に私が好みの男性に変身して話かけます

「何処かでお逢いした記憶がありませんか」



織田広喜 少女

雀一匹の朝

今朝自分の寢室の布団の上で目が覚めた

この朝を病院で迎える人がいる

この朝を鉄格子の中で迎える人がいる

百年前の朝 何処の枝にも私はいなかった

百年後の朝 確実に私はいない

そう考えると

自分がこの朝を平凡に迎えられることは何と貴重なことだろう！

茂みに差し込んだ光に雀がビククリして鳴いている

昔、太陽が一日姿を消したら地上に朝が来なかった

天細女命(アメノウズメノミコト)が舞い

天大手力命(アメノタヂカラオノミコト)が天の岩戸を押し開けた



天の岩戸開き

それから日々朝がきている

以来地には人が溢れ様々な国があり様々な組織がある
その大きな組織の長になるのは大変だが

大きな組織の長の代りは常に何人も待機している

幸い私には関わりのない遠い世界です

一方 平凡な一人が必要な世界がある

一人の調理人がいないと開かない店がある

町のお医者さんは一人の先生が病気になると休業になる

面白いことにこの世界はその他大勢でできている

今日もその他雀に その他に朝が来た

私一匹の今日の予定 歯を磨きながら思います

今日も何か些細なことで何かの役に立ちますように

地球よ 今日もまた一日お邪魔します



あつしには関わりのねえ
こっでござんす。



木枯し紋次郎

ゴキブリ哀歌

ゴキブリは何故鳴かない

もしゴキブリが黄金虫の羽をもち鈴虫の唄を歌えたら

もう少し人に愛されたでしょう

昆虫が羽で演奏できる曲目は限りがあり

スズムシ、マツムシ、カネタタキ、ツヅレサセコオロギで終ります

あとは真似するよりほかないのですが

ゴキブリの羽は飛ぶこともできず音がでないのです

∴ゴキブリは 鳴くに泣けない 秋の暮れ∴ 詠人不知

ゴキブリは、害虫シロアリ、ウンカ、松食い虫、コガネムシ程 ※

人様の迷惑になっていないのです

この世では歴史のあるものは尊敬されます



江戸時代から続く老舗があります

日本の皇室は世界最古で2600年を数えます

ゴキブリの歴史はさらに古く二・三億年前カマキリ族と別れ

大洪水の時はノアの箱船に隠れていました

ゴキブリの天敵はネズミ、ヤモリ、アシダカクモ、はさみ虫ですが

最大の天敵は人間です

「オレは無実だ。助けてくれ」と叫んでも

問答無用！叩き潰そうとする目が怖いです

私どもは太古人間を襲った爬虫類とは違うのです

ルル説明したいのですが誰もとりあげてくれません

昆虫学では同じ外見でも人間を「益人」と「害人」に分類します

普通の人でも人に優しい人は益人です

エライ人にも(害人)ガイジンはいてTVにもよくでます



話題

恋人同士は用がないときでも電話する

幼児は母に伝えたいことが沢山ある

思慮ある大人は感じた事をそのまま話せない

相手が興味のある話題であるか考えます

政治、経済、学術、芸能、ご近所の事件

暑い、寒い以外は人により関心が違います

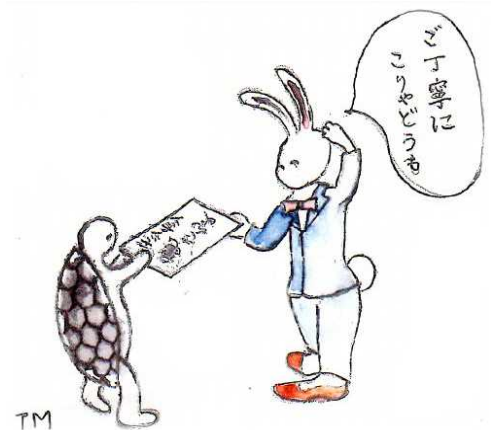
私の拘り

新聞TVの大見出しや芸能ゴシップには関心ありません

私に関心があるのは〇〇は意外とお酒のつまみに合うとか

今朝 散歩道で羽の綺麗な野鳥を見た とかです

それらフト思いついて電話したくなる人がいます



「だからどうなの」という人にはかけない

大概の友人は「用がなくて電話をかけて悪かったか？」と聞くと

「悪くない。ただトイレに急ぐ時、食事中、来客中の時は困る」と言う

その点 神様、仏様、故人は先方の都合は気にしなくてもいい

ただ返事をしないので一人で領いたり抗議していればいいのです

「いつの世も大勢でやると悪いことも悪くなるのですね」「…」

「宇宙人いるといいね」「…」

「星空が美しいのは汚いものを全て地球に掃き寄せたからだよね」「…」

「天地創造、五日目の弱肉強食の発想お人柄が不気味です」「…」

「あ そうかい。それで返事をしないんだね。分かったよ」「…」

ということにもなりますがそれでは大人げないです

「何時も聞いて頂いて有り難うございます。」

今後共宜しく願います」と二礼します



嫌いな国　好きな人

現在日本人の多くは韓国が嫌い、韓国人が嫌いです

現在メディアから流れてくる情報ではそうなります

相手もまたその国のメディアで同じ事を考えているようです

中国もまた同じだと思います

どちらが正しいのかそのまま話し合えば一層険悪になるでしょう

人智を越えたAI・5Gソフト「イソップ」なら解決するでしょうか ※

ハードもソフトもそれを作った人の意に添います

その昔人の上に立つ(王)は奴隷制度を思いつきました

まず奴隷の仕事は重労働、危険、汚い仕事でしたが

耳障りのいいことだけ話す「お話し奴隷」をつくりました

イソップです



嫌いな国のものでも美味しいものがあるように それぞれ、感動する物語り、心が和む音楽、逢いたくなる人がいます

…私を捨てて行く君は一里も行かずに足が痛む…

「アリラン」はある時、韓国のあるところにいた素朴な人の心です

ロシアは戦後多くの日本兵をシベリアで奴隷として働かせました

同じロシア人トルストイが書いたのが「靴屋のマルチン」です

…愛は死よりも死の恐怖よりも強い…

この詩を書いたのはツルゲーネフ ロシア人です

現在巨大な赤色軍事国家中国はかつて老子、荘子がいた国です

一夜で十万人。一瞬にして23万人以上無差別殺傷したのはアメリカですが

「大草原の小さな家」の作者はローラ・（I）・ワイルダー アメリカ人です

嫌いな国には嫌な人だけが集まり

日本はいい人だけ集まる国だと分かり易いんだけどなア…



ローラ



原爆地獄絵図旧共済病院

者語り

「物語り」は科学^{モノ}世界のお話で

人の世界のお話が「**者**語り」なのだ気づきました

今朝も新聞の計報に過去の著名人の名があつた

坂本スミ子八四歳(チトお姉さんだ)ハンク・アーロン八六歳

(おや、まだいたの)計報の多くは既に「忘れ者」である

「忘れ者」とはある時覚えられていた者の特権である

その点普通の人是最初から忘れられている気楽な種族です

季節が来ると鳴きながら一斉に飛び立つ渡り鳥の不思議

その他大勢の人間も八十を越えると同じ思いに

旅先の期待と不安で心が浮き立ちます

「○○の定期総会には自分が居なくても大丈夫だろうか」



この種の問題は全員が「安心して」と保証してくれる

そして誰もが自分以外のことは知らないで終わる不思議

最後の旅は。パスポート不要、着替え不要、元の家に帰るのだ

長い間余所^{よそ}さまの家にホームステイしていたのです

「一度殴っておけばよかった」そんな人もいたけど

お詫びをしたい人もいます

この世界には逢つて良かった人達が何人もいます

それぞれの方には「何かいいことがあります様に」と思います

思いや祈りが何かの役にたつか？立つ！。という人がいます

「世界は人の意識で動いている」

原子顕微鏡で人の意志で動く金の原子を見て驚いたのは川又

三智彦という人です ※

その方はそれから「昭和三十年代村」を作りました



月の宴 うたげ

誕生日は年に一度の自分だけの貴重な祝日ですが

目出度いのは子供時代だけです

誕生日を覚えているのは保険屋さんと自分だけになります

人の世の後半このままで何か面白いことはないか 考えました

ありました

満月の夜お月様と一夜を過ごすことです

「今晚は 今夜もまた一段と綺麗ですね」と賛辞を呈し

お月様の杯を満たしたあとは手酌でやります

お月様は一々お返事はしません

「次の会場がありますので」など中座することはありません

月の光に包まれていると心にも潮が満ちてきます



梅川 紀美子

酔いとともに夢想は広がり時空を超えてゆきます

月見の宴で平手造酒が殿様から杯を賜り恐縮しています ※1

殿のお屋敷は広大で月が山の端から昇り山の端に沈むまで

笛の音に美女が舞う姿が影絵となり夜が更けます

時空が暗転します

…たのしみは とぼしきまま 人集め 酒飲め物を喰えというとき…

月の夜橘たちばな曉あけ覧が友を招いて歓談しています

満月の夜沖繩の海では一斉にサンゴが産卵します

狼は悲しげに遠吠えしますが私は何故かうきうきしてきます

森の木陰では大勢の人が夜通し歌い踊っています ※2

これで良かった 良かったのだ と思います

コロナ・テレワークのこの時代

満月の夜はひとり夢の世界で遊ぶのです



なぞなぞ

有るようで 無いもの 何あーんだ

無いようで 有るもの 何あーんだ

今夜は見えないもの 雲の上の月

百年前五十年前十年前一年前 在った 居た

昨日の今はいたけど 今日の今は居ない人

今は誰もが笑う 当時こんな事を言った人がいた

「ごめん 間違っていました」はない 人もメディアも

短いようで長い時間 信号待ち 大会の挨拶

長いようで 短いもの 過ぎた時間

今日もまた 赤頭巾ちゃんの世界

狼さんが羊の真似をしてやつてくる



鳥獣戯画

いかにもホントウみたいな CM

国会中継 与党は悪代官 正義感に燃えて獅子吼する野党

貴方の為になることです 健康になりますよ お得ですよ

日々の電話セールス オオ 世の中にはこんなにも親切な方がいる！

分かりました それ以上話すのは無駄なこと

予報では午後から殴り合いになるでしょう

ここは格闘技のリングではありません

分かりました にこやかに握手をして別れます

有るようで 無いもの 何あーんだ 夢 幻 ×月×日この世界

今だけ 有るもの 何あーんだ

日当たりの土手に咲いているオオイヌノフグリ

貴方に貰ったガラスの腕輪

フフ 私は仙人 目の前にあるお酒と自分を吹き消してみせます



一日

一日で一番いいのは朝です

朝は一枚の白紙です

タンポポを描きたいと思います

雲一つ描きたいと思います

私は毎日各駅停車に乗っているので

様々な人と出会います

今日起こることはみな楽しいことでもありますように

逢う人がみない人であるようにと 祈ります

昼は一番大事な時 蟻が走り人間も何かする時です

人の役に立つことが一番ですが結構難しいことです

誰れでも興味のないことには耳をふさぎ目を閉じます



それで人以外でも何かできる事を考えました

暫く前朝の散歩道に雀の餌を置く場所をつくりました

いつも十羽ほどの雀が私を待っています

一日で一番いいのは夕方です

昨日と明らかに違うのは月の形です

それぞれの人の残り時間です

一日で特別いいのは寝る前です

私のレポートは書きかけ、絵は未完成です

思っただけ、やりかけたことばかりです

眠くなると「はい そこまで」

レポートを回収しにきた天使が笑います

「落第」貴方はまだこの世を卒業できません

お休みなさい また明日



不思議

昔は不思議なことがあった

雷とか嵐とか噴火とか全て神のなせる業であった

昨日まで健康であった者が高熱をだして倒れたり

突如異様な言動をする者がいるとそれは霊の仕業であった

古代人に恐怖を与えたものは科学で解明できる現在

不思議なものは消え神や霊の住む世界は消滅した

今でも霊や神を信じているのは深い森の奥に住む種族である

ところがこの文明の世に古代人と似た考えを持つ人種がいます

恥ずかしながらその一人が私です

心強いことに少数ながら学者もいます

その人種が持つ偏見、妄悟、不思議感は色々あります



- ① 絵描きの描いた絵が本物で写真や5G世界の画像は虚像である(某画家)
- ② 時、空、物(エネルギー)は互に伸び縮む関係にある (相対性理論)
 …に依り天国は西方十万億土ではなく隣にある異次元である (言責 キリスト)
- ③ あらゆる粒子(存在)は粒子と波動の二重性をもつ(量子力学は既に百年前) ※
- ④ 何もない自分が今、此处にいるそれが不思議(私の拘り)
- ⑤ 忘れられない多くの無名の人の死の意味 !
- ⑥ 野の花一輪 雀一匹 自分一匹どうも大差無さそう
- ⑦ 外観は同じでも中味がまるで違うモノがあり、人がいる不思議
- ⑧ 広大な宇宙に地球にしか人が居ない不思議 居る不思議
- ⑨ 人類史の始めからこの世の不条理が認可されている大不思議
 等々、この世は時として私を悩ませ感動させます
 でもそのしかし、満月、夕焼け、目を見張る絵画、音楽、人との出会い…
 それがあるのでその都度「ま、いいか」と思うのです



キュウリの花



クヌギの実

自分A

自分はあるか いないか

長い間考えて「いる」と発表した学者がいました
その方は当時生活に困っていなかったと思います

何処も痛いところがなかったのだと思います

楽しい時嬉しい時は自分を忘れています

空っぽの自分に気がついても困るのです

いることが問題な人が大勢います

犬やネコに尋ねます

「ワン。ニャン。ここにいますでしょう」

お地蔵様に尋ねます

「∴」 お地蔵さまは賢いので論評を控えます



今の私に尋ねます

子供の時から今までのどれが自分だろうか
認めたくない自分が大勢いて消去します

良い音楽を聞いていると自分を忘れていきます

良い物語を見ていると自分を忘れていきます

親しい友人と話していると時間を忘れます

赤い花は赤い紙の上では消えてしまうように

青いネコは青い光の中で消えてしまうように

楽しい時は自分が消えてしまいます

そして同じ波長に合うと見えないものが見え

聞こえなかった声が聞こえます

時々自分を忘れる世界が垣間見えます

私のゴールは自分が見えなくなる世界です



満月との会話

「昨日は曇りだったのに今宵は雲一つ無く何と美しいお姿でしょう」

「…」

「誰も噂しないのは昔と違い夜空はビルの狭間にあり

人は屋根の下にいたので忘れられてしまったのですね」

「…」

「貴方は人間がいない太古からおりました」

「…」

「この世界の滞在期限の短い者はある日フト貴方の存在に気づきます

かぐや姫は自分がこの世の者ではない高貴な身分を思い出し

私は隕石や三葉虫であつた過去を思いだし哀しくなります」

「…」



「貴方を眺め多くの賢者が悟り、その他大勢の私は途方に暮れました」

「…」

「お月様。この世で話し合いで得られることはどのくらいありましたか」

「…」

「お月様。この地上の争い事は何時頃から始まり何千年経ったら無くなりますか」

「…」

この世に私が生まれた日 浜辺ではウミガメが産卵します

南海の海では珊瑚が舞い上がる花卉のように産卵します

川面にはユスリカが乱舞し短い夏の夜に酔い死れます

誕生日の祝いは幼児から青年までのものです

今宵招いたのはお月さまでですが時空を超えた人の気配を感じます

「ま、一杯」懐かしい誰かがお酒を注いでくれます

早春の夜月の光に包まれ幸せな気分です



行田の古墳



神を知らない者の祈り

未だ私はあなたがいるかどうか分かりません

逢ったことがないし声を聞いたことがないからです

さらに貴方がいると思えないことが多過ぎます

日々メディアが報道する事件 身辺にも絶えない問題

有史以来の石碑に刻まれる惨劇の数々全て神のいない世界です

「神はいない」と誇らしげに言う人の群れがあります

「ご尤もです」質量不明、所在不明です

ただ私は密かにいた方がいいと思っていたので残念です

「神はいる！」と叫ぶ人がいます

信じていない人は処刑されました

神や仏はいないかもしれませんが神や仏のような人がいました



へ極限状況の中では人は餓狼がろうに帰る」と言われていますが

コルベ神父はアウシュビッツで身代わりを申し出て処刑されました

「世界全体が幸福にならないうちは個人の幸福はありえない」

宮澤賢治は人間のくせに阿弥陀仏のような事を言いました

天上天下知れば知る程この世界は不可解です

人は地に溢れ人一人は見えませんが

一人一人の私にしか出来ないことがあります

痛みを感じる、感動することです

不条理な世界にあつて虹や夕焼けは美しいです

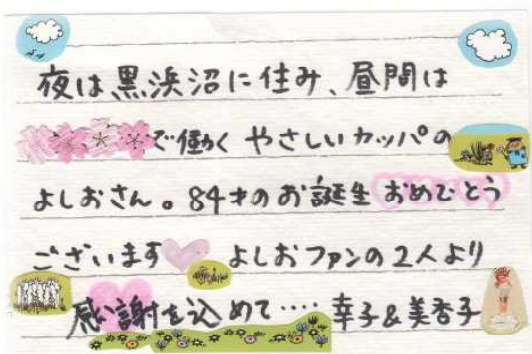
そして人が作った音楽や絵画や物語りに感動します

この世で私と出逢った人達がいいます

残り時間を感じ一言お礼を言いたいのですが

神様がいないので困っています

私のガールフレンド



ローラ

私の幸せ

不幸が好きな人がいる

人を不幸にする名人がいる

何か欠点を見つけて指摘する人

いま自分に無いことを見つけて不平をいう人

そんな人がダンゴ虫を見つけて怒鳴る

「目障りな虫けらめ、そこを動くな」

ダンゴ虫は早々に庭石の下に隠れる

ダンゴ虫は害虫ではありません

※1

「道端に咲いて恥ずかしくないのか」

元栽培種のフランス菊をみて嘲る

※2

「いいえ何とも。東洋の大勢の人に会えて嬉しいです」



不幸な人がいるのでお目出度い私もあります

自分に都合良い解釈をしてしまう人種です

不機嫌そうな人には近づかないほうがいい

そして人を不幸にする人は自分もさほど幸せでない

〈何でも一番二番は恥〉と教える人がいる

〈ナンバーワンでなければオンリーワン〉と叫ぶ人がいる

そうなった後はそれからズーツと幸せなのだろうか

エリートだけが生き甲斐ならこの世界にその他大勢の意味はない

私は自分には出来ないものだらけなので世界の大きさが分かった

家族に病める者が与えられたので学ぶことがあった

私には無いものが多いので貴重なものが分かった

私の幸せはこの世界に私が大勢いることです



白菜子

慈雨

※

今日は朝から雨です

南の方から桜の開花が始まっています

「いい雨だね」

山川草木 さんせんそうもく 道端の草までも躡き合っています

こんな雨の日も世界の何処かで戦争しています

日本の何処かで様々な人の集いが争っています

夜が明けると個人々も戦争を開始します

AさんとBさんは話せば必ず火花を散らします

Cさんの病気は長引きそう

Dさんにはその種の話題は通じません

Eさんはコンクリートで身を固め内側には誰も入れません



同類だけでなく異類間でも仲良く^{いるい}している動物もいます

人間は恥ずかしいです

こんな雨の日には思い出す方がおります

千百年前の今、失意の小野道風^{おののとうふう}は柳に飛びつく蛙をぼんやり見ていた

そして二百年前の今

穏やかなまなざしで良寛は五合庵から降り止まぬ雨を見ていた

「桜が咲く頃参ります」

貞信尼の言葉を思い出していたのです

春の雨は昔から降っていた

ひび割れた人の心にも

この静かな雨が届くと良いね^い



夢の中の桜

「オオッ　桜が咲いている！」

散歩の途中立ち止まった

今年もまた桜が咲いている

何も良いことがないのに…

花を飾るのは嬉しい事があつた時です

誰にでも共通するお祝いは子供時代から青年期迄です

祝い事はそれ以降急に少なくなります

せめて寂しい者どうし寄り添い話し合おうと思つても

今年はコロナの流行で一人一人離れて暮らします

桜の木の下でおなかが痛いと言っている子がいる

幼稚園へ行きたくないのだ



金昌寺　幼児像

桜の下で悲しんでいる人を見たくない

花の中から声がする

思えば平安の昔から桜は咲いていた

…願はくは花の下にて春死なむ

その如月きさらぎの望月のころ…

西行法師

いつの世も桜の下で楽しむ人と

遠くからそれを見ている人がいた

この時節のお奨めはテレワークです

私は書物や空想で故人や妖精達と話します

今年は例年より早く開花しました

どんな人も幸せに生きて欲しい

満月の夜 誰もいない公園で

桜が夢のように咲いていた



白木蓮

その方は親切で言っているのか

その病気はそれで治るのか

その問題はそれで解決するのか

「本当の事が知りたい」と思うことがあります

CMでも有名なタレントが言うのとホントみたいです

NHKの番組で著名な学者が言うのと信じたくありません

何でも本当のことを知ったら幸せになるのでしょうか

本当の事はつまらない事や汚い事が多いです

新聞 TV 事件 事故 災害 身の廻りのこと

一日がそれだけで終わる日があります

そんな日はウソでもいいから美しいものはないかと思えます



その夜PCのレンタル映画で見た「天国からの奇跡」は※

誰かが作ったものだけど安堵^{あんど}して目を閉じました

本当のことで嬉しいこともあります

今朝は三日ぶりの晴天です

満開の白木蓮が青い空の中にありました

咲き始めた日は生憎曇^{あいにく}り空でした

次の日は終日雨に濡れていました

その次の日は風が強く花卉が散り始めたので心配しました

花の盛りは短いのです

花は人の為に咲くのだとは思いませんが

白い雲や白い花は青空の中にあればそれで幸せです

漸く青空に出会った白木蓮を見上げホッとしました



異類との対話

人間以外でも対話は出来ます

ペットや家畜を飼っている人なら分かります

植物でも会話出来るという人もいます

1966年クリーブ・バクスターというCIAの尋問官が
観葉植物「ドラセナ」にウソ発見器をとりつけました

植物にも心はあるかどうか「焼くぞ」「切るぞ」と脅して

「怖いよ」と自白させたのは有名な話です ※1

スコットランドの北端「フィンドホーン」に住みついた人達は
植物や樹木と話が出来ると言います ※2

この種の噂は

話半分その半分「まア まア」と囁^{わら}う方の方が多いです



ドラセラ

痛いことはしないで下さい



クリーブ・バクスター〔左〕

人間同士は同じ言語でも半分通じません

(やがて罵り合い殴り合い国家間は戦争に発展します)

動物や植物は人間より話が通じると思います

異類のもので人間と話したがっているものはいませんか

「CQ CQ こちらオレです。何処かに誰かいませんか」 ※3

私は多次元世界に発信し続けています

私は信じやすいタチです

宇宙人とも是非お逢いしたいものです

年をとると夜半よく目が覚めます

草木も眠る丑三時^{うし} 何かPC画面に思いがけないメールはないか

頭の中に聞こえて来ないものか、少しお酒を飲みながら待機しています

今のところまだです

もしでたらお知らせします



北スコットランド フインドホーン

フィンンドホーン

シャングリラも桃源境も伝説だが

フィンンドホーンは北の僻地に実在している

1962年 三人の大人と三人の子供が

この地のトレラーハウスで暮らし始めたのがスタートです

ヒースとハリエシダしか生えないこの荒地に

途方にくれた六人が生きる望みとしたのは

ピーターの妻アイリーンの「内なる神」の声でした

「内なる神」は祈りに応えさまざまな精霊を呼び集めた

エンドウ豆の妖精達は18kgのキャベツの生育を手伝い

何故かここを訪れた者の癌や難病が治癒した

様々な奇跡の原因は土壌や栽培法ではない何かでした



ヒース(エリカ)の実



その何かを確認したく世界中の人が訪れ参加しました

※

チベット仏教も神道もネイティブアメリカンも

ここではあらゆる宗教の伝統が尊重されます

アイリーンは聖母マリアと観音菩薩を虹の中に見たという

やがてフインドホーンのコミュニティは各地に飛び火し

1997年国連からNGOとして正式に認可されています

彼女は神の声に従い精霊を呼びこの地に樂園を残したが

2006年12月89歳で使命を終えた

彼女自身の生涯は恵まれた環境ではなかった

二度の離婚を経験しこの世の荒れ地を生きたのです

アイリーンはこの地球を去るまえ

しきりと北欧の空の美しさを称えた

晴れた日の空はあの世界に続いているのだと思います



アイリーン・キャディ



ハリエニシダの花

満天星

ドウダンツツジの漢字表記は灯台躑躅ですが

満天星という素敵な呼称もあります

「綺麗な花には毒がある」というのは

見かけが美しい女性には要注意という警告です

事実である場合もありますが

多くは見かけに自信がない女性のヒガミであり

「ああいう女性は中身が良くないに決まっている。頭が悪いか性格が悪い」等

葡萄に手が届かなかつたイソツプの狐と振られた男の言い訳です

私が後年分からなくなつたのは中身も良い女性もいることです

更に困つたことに見かけが悪く中身も良くない女性もいることです

何事にも「何かウラがある」目を光らせる人種がいます



アセビ



ネジキ(捩木)

最近まで「ドウダンツツジにも毒がある」との陰口がありました
理由は外観が似ているスズランが猛毒を持つこと

花の形が似ているアセビやネジキが毒を持っていることです
ドウダンツツジには毒がないのです

さらに損なことがあります

一つ一つの花は百合やチューリップに匹敵するのに

ドウダンツツジは数をつけ過ぎます

「数を減らして大きくしたら」と忠告しました

小さな声がしました

「人のためでなく昆虫のためなのでゴメンなさい」

昔から一度砂漠や草原で満天の星空を見たいと思っています

銀河鉄道に乗って星空を旅するのが夢です



銀河鉄道の夜(サイトより)



ドウダンツツジ〔満天星〕

（読売俳壇）より

今朝の秋誰かひよこり来るような
星月夜 選ばれしごと 吾病めり
天空にいいことありぬ 冬夕焼け
このバスはどこ行きですか 芒原
少女来て箱の子猫の鳴き始む
笹百合やこころきれいな人に逢う
人来たり人去る道や夕桜
一本の土筆発見 見れば一面
吉野へは駅毎桜無人駅
もう誰もいない公園 花吹雪
昼寝してまたつじつまの合わせ夢
喧嘩中の妻の手を借り大根蒔く

（奈良市）	島田 祥平
（玉野市）	北村 和江
（北見市）	藤沢 直美
（福岡市）	土井 健悟
（町田市）	村田 実
（愛知県）	吉居 晴代
（藤沢市）	青木 敏行
（松戸市）	稲葉 豊美
（葛城市）	二上 三六
（銚子市）	飯嶋 政恵
（久留米市）	緒方 英精
（長野県）	小沢 隆

私は歌人でも俳人でもないのでプロ作家の作品の良さが分かりません。
私が感銘するのは一般投稿の作品です。ここ1年間の新聞の短歌俳句欄で
感銘したものをスクラップしました。誰か一人でも自分もいいと思うよ。
と言う方がいれば満足です。

（読売歌壇）より

阿弥陀仏に帰依せし女官二人の名すずむしまつむし思いいずる夜

（丸亀市） 森田かおり

この世にはみな色があるねと子はいいし手をしかと繋ぎこの世を歩く

（広島市） 児山順子

「また手術」声おししすめ泣く妻をなだめなだめて同意書を書く

（舞鶴市） 吉富憲治

病院より無言で帰りし妻の荷にコトリと音する箸箱があり

（井原市） 藪田勝男

五歳にして逝きたる孫をふとおもう桃の節句の宵のしずけさ

（足利市） 熊田敏夫

「大丈夫 悦子の悪いもの全部もって逝くよ」と言つた母さん

（仙台市） 植沢悦子

下の子が寝た頃そと甘え出す長女は我に顔を埋めて

（横浜市） 友常甘酢

幼子を六人乗せたる乳母車春の日を浴び花籠のよう

（福岡市） 今橋和徳

虐待の子の声を聴く我が仕事 かき抱きたくなる心抑えて

（安芸高田市） 菊山正史

幼子を六人乗せたる乳母車春の日を浴び花籠のよう

（福岡市） 今橋和徳

悪役はいかにも悪い顔してた理解しやすき昭和のドラマ

（仙台市） 岩間啓二

十円の小遣い貯め置き母に贈る手袋買いにき十歳我は

（八王子市） 関山正男

追補

幸せ

※1 4頁

友がみな われよりえらく見ゆる日よ 花を買いきて妻としたしむ

※2 5頁

憶良らは今は罷(まか)らむ 子泣くらむ それその母も我を待つらむそ

瓜食めば子供思(おも)ほゆ 栗食めばまして惣はゆ 何処(いづく)より来たりしものぞ

眼交(まなかい)にもとなかかりて安眠(やすい)し寝(な)さぬ

心の世界

※1 9頁 「貴方にすごい事を教えて上げよう。貴方はまもなく死にます。そして気がつくとき私と一緒に天国にいます。本当だよ」 私語記わたしご

※2 ルカ伝 23―39―43

※3 「心の貧しき者」この言葉の一般的日本語の解釈は逆です。素朴で感性豊かな人のことです。一番相応しい言葉は「謙虚」だと思います。



「心貧しき者」の反対は「心の豊かな者」になります。学識経験者、著名人、社会的有力者、著名評論家で感性豊かな方もおりますが、素朴な心を持ち続けるのは難しいと思います。イエスも在世中は聴衆の中から幼児を抱き上げ「天国はこのような者が住むところだ」と言っています。因みに「オレみたいなバカは」と口癖に言う方は本当にそう思っている方ではなく「そんなことない」と敢えて否定して欲しい方で強い一家言を持っている方です。

仏教の難行中の難行に「好相行」があります。生ける仏（神）に出会う事です。平成9年。宮本祖豊師（四九歳）は天台宗総本山延暦寺において十二年間籠山にし一日三千回、仏の名を唱えながら五体投地を繰り返して六百日目に生ける仏（神）に出会った。戦後六人目の快挙という。

山上の垂訓「心貧しき者」の中に「幸いなるかな。心の清き者は神を見ん」という言葉があります。心の清い者難行苦行しなくてもそれだけで神と出会うと言うのです。「幸いなるかな」です。好相行を萬行した高僧ほど定かではありませんが、その気配は人を通じて時々感じます。宗派信仰の有無を問わず人の善意や優しさに出会う時です。みな阿弥陀様や神の世界に連っているのではないのでしょうか。

酒（しゅ）の祈り

※110頁 聖書 主の祈りの駄しゃりです。お許し下さい。

※210頁 美輪明宏のTV番組をみて



円空

※3 11頁 何をやってもうまくいかない「不成就日」という忌み日が1年に48日あります。

一方僅かな努力でも一万倍の成果がある「一粒万倍日」も同じくらいあります。さらに「不成就日」も「一粒万倍日」も普通のカレンダーに記載がありません。

九十九匹の羊

※12頁 夏目漱石 「吾輩は猫である」冒頭 吾輩は猫である。名前はまだ無いより 盗用。

滞在許可

※15頁 アレキサンダー・ポープ 1688〜1744 英国の詩人 生来虚弱(百三十七cm)で学校教育を受けられなかった。

みよ あわれなインディアン！彼の教わったことのない心は神を雲の中に見

その声を風の中に聞いている

彼は有り難い科学を学んだことがないので

遠く太陽の歩く道、また銀河のほとりでさまようことを知らない

しかし、単純な自然が彼にのぞみを与えた

あの雲を乗せた丘の、もつと心やすい天と空とを



もつと安心できる世界を、森の深みに囲まれて、もつと楽しい島を

広い水の広野の中にそこで奴隷達は今一度彼らの生まれた国を目前に見る
そこでは友達に苛められることもない。

クリスチャン達が金を探してさわぐ事も無い国を

そこに生きる彼らの自然の命を満たす

彼らは天使の翼を求めない。大天使の聖火を求めない

ただ思う。その平等の空の下に住むことを許されて

彼の愛する犬が何時も彼のそばを守っているのだと

ゴキブリ哀歌

※ 22頁 害虫には大別六種類あります。

農業害虫、貯穀害虫、衛生害虫、食品害虫、家畜害虫、不快害虫

因みに不快害虫の内容はクモ、アリ、ヤスデ、ゲジ、**セミ**、カマドウマ、ゴキブリ等ですが
何故かセミが入っています。不快害虫の定義は実害はないが、見た目がよくない、とい
うことのようなのです。この評価には時代的、民族的、個人的差異がありそうです。日本



の夏の風物詩、セミが此処に収監されているのには驚きました。童謡で懐かしい「蛙の笛」へ月夜の田んぼで コロコロコロコロと鳴る笛は あれはね あれはね あれは蛙の銀の笛♪は今も名曲として記憶に残る歌です。田園は今は市街地となり所々残る田んぼで鳴く蛙は近くの団地の住人から騒音として訴えられる時代です。

昆虫区分でいうと人間には「益人」と「害人」がいます。昆虫の分類と違うのは外形ではなく、パフォーマンスと行動様式の違いです。

嫌いな国 好きな人

※ 26頁 あらゆる人間関係のトラブルを仲裁するあり得ない架空のソフト。

者語り

※ 29頁 川又三智彦 1947年生 不動産業でバブル崩壊で一千億の借財ができて倒産し新聞の見出しになった方です。

この方が奇跡的に立ち直った契機の一つが友人の科学者の実験室(ラボ)で動く金原子を見たことです。

既に百年前、ミクロの素粒子は観測者の想念で動く、とアインシュタインの論敵のボーアが唱えたことは一つの

【童謡】蛙の笛



理論として知られていましたが目の当たりで見た川又三智彦は人生観が一変したと述懐しています。「人生の意味と量子論」平成20年8月(株)高木書房 発行

月の宴

※131頁 平手造酒 浪曲「天保水滸伝」に登場する剣客。笹川繁蔵の食客、飯岡の助五郎との大利根川原の決闘の際死亡。

昭和14年 平手造酒をテーマにした「大利根月夜」は田端義夫の唄で大ヒットとした。唄の文句によれば当時所轄の殿様から月見の宴に招かれた、となっているがこの真偽は不明。実在の人物である事は間違いなく江戸で有名な千葉道場の四天王の一人であつたが酒クセが悪く破門されたとされている。

経歴としては冴えない人物だが何故か著名な作家が取り上げています。何かありそうなのでとりあえず一冊読んでみます。関連書参考まで記載いたします。

天保水滸伝(高木為鎮)半身のお紺(笹沢左保)今朝もまた夢―平手造酒外伝(笹沢左保)武蔵野水滸伝(山田風太郎)花も刀も(山本周五郎)月とよしきり(津本陽)

※2 水木しげる著娘に語る「お父さんの戦記」は事実に基づいた作者の戦争体験記である。

戦闘機の機銃掃射を受け左腕を失った凄惨な体験にもかかわらずこの物語は何故か暖



かい。

サブタイトルが「娘に語る」である。凄惨な体験をこのような視点で表現できる作者に改めて感嘆します。二十数年ぶりに読み返し、大地の母神トンプアナを信じている意味は一般的に使われている未開部族の蔑称ではなく真逆です。なまじつかの文明人と比べて人間の原型という意味です。因みに作中「トペトロとの50年」

の作者の言葉を紹介します。…すなはち私の家では『土人』という言葉は尊敬の

意味で『土の人』 というのは私は昔からのあこがれだった。…一見文明社会に住む

人種とどちらが幸せか、意味ある人生か、あらためて考えられました。

原住民と親しくなった作者は、仲間として祭りに呼ばれる。太鼓の音を聞きながら祭り会場にたどりついた水木しげるは何時か原住民（**トライ族の名がいい。トペトロ、トマリル、イカリアン、エペプ、トブエ**）の踊りの輪に溶けこんでいく。以下、著書からの抜粋である。

…やがて踊りが始まると、踊りといつても彼らのは、沢山の人が同時に踊り出すから、ものすごい迫力だ。大地を大きな足で踏みならす地響きがまたたまらない。内蔵にしみわたる。頭にはいろいろな色をしたワニだとか、鳥みたい



母神トンプアナの子ドクドク

なものを作ってかぶり歌うというよりは絶叫する。お父さんも思わず「キャーッ」という日本人ばなれした声が出るのをどうしようもできなかった。それは今までも土人が畑で歌っているのを耳にしていたからだ。…

作者が参加したのは昼の祭りであるが猛暑を避けた満月の夜もあつたはずである。

他国は分らないが日本の夏祭りは夜が多い。童謡「森の小人」は満月に開かれる小人の宴である。

♪ 森の木陰でドンジャラホイ 今夜はお祭り 夢の国。

作者は妖怪物語（ゲゲゲの鬼太郎）の作者で知られているが、自身が少なからざる不思議体験をしている。

亡くなった人が蝶で現れたり、夢で見たり、私程度の平均的科学知識（在るのは質量、エネルギー、脳内現象）により冷笑する人が多いが、面白いのは私を遙かに超える科学者の方で不思議現象を真面目に研究したり、そういうことはある、あつたほうがいいという方に出会ったのが晩年です。そう思うと未知の世界が待っているようで楽しいです。そのときは希望者に限り夢の中から「あの世オ」と話しかけます。

不思議

※ 37頁 ボーアを筆頭とするコペンハーゲン学派により「観測者効果」が唱えられてから一世紀経過している。



パプアニューギニアの森の霊

私の幸せ

※44頁 害虫にはそれぞれ、「衛生害虫」「不快害虫」「農業害虫」がありますがダンゴムシはその何れでもありません。天敵だらけで鳥、蟻、蜘蛛、ヤスデ、ムカデ、ハサミムシ、ゲジゲジ、蛙、蛇の好物です。逃げるだけの日々で世を忍ぶ夜行性です。

人間には「上座人間」「下座人間」「不機嫌人間」「イジワル人間」「皮肉人間」「パフォーマンス人間」「根暗人間」「ハンコ人間」「タメイキ人間」「モンク人間」「大声人間」「シラケ人間」「透明人間」がいます。

※2 44頁

ヨーロッパ原産の帰化植物である。

江戸時代の末期に観賞用として渡来したものが北海道から本州にかけて野生化している。

慈雨

※ 46頁 表題の慈雨。正しくは夏の季語です。春雨を慈雨というとは俳諧の道の方から嗤われます。

白木蓮

※ 51頁 「天国からの奇跡」の原作は2015年ベストセラーとなったクリスティー・ビームの自叙伝だといま



韓国版 おかめひょっとこ

す。2016年アメリカで映画として公開されました。創作でもいいのですが、実話がベースにあるのだとすると人により見方が変わります。

異類との対話

※1 52頁 クレーヴ・バクスター1924〜2013。CIA元尋問官。ポリグラフ（ウソ発見機）の第一人者。1965年バクスター研究財団を設立。

※2 52頁 1962年アイリーン・キャデイとピーター・キャデイの夫婦と友人ドロシー・マクリーンの3人が北スコットランドの小さな村へやってきた。アイリーンがエンドウ豆の天使からメッセージを受け取り、その通り実行すると25キロのキャベツや30キロのブロッコリーができた。世界中の話題になり土壌学者がいろいろ調べたが理由が分からない。現在では五百名ほどの共同体になっているという。

この奇跡の村を尋ねる通訳付のツアーも行われ、日本人もよく訪れるという。

※3 CQCCとは、無線通信で不特定の相手呼び出す時に使うコールサインの「c」でcall to quartersの略。

フィンドホーン

※ 五十六頁 日本でも多くの方が訪れています。学者の方も大勢います。関心のある方はアメリカ人「フィンドホーンの魔法」ポール・ホーケン著 山川紘矢・亜希子訳 日本人だと寺山心一翁（早稲田大学第一理工

学部卒業後東芝で半導体の研究開発に従事)の「フインドホーシへのいざない」サンマーク出版がお薦めです。





まだかな 白菜子

私家版 詩画集 「夢覚めず」

発行日 令和三年四月二十日

製作 手作り出版社

〒349-0101 蓮田市黒浜3111の2

書いた人 やまのうえの 山上 むらひと 村人 戸籍名 大畑 善夫

E-mail ohata@ohdk.co.jp <http://www.ohdk.co.jp>